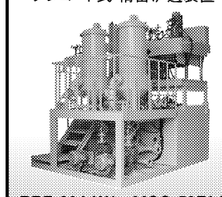
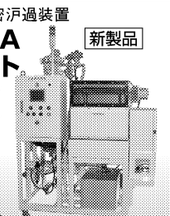
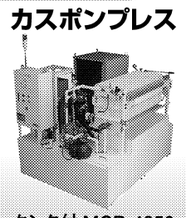
精密沪過で加工トラブル解消!!
クーラント液リサイクル
スラッジ回収可能!
精密微細加工サポート
MITAKA INDUSTRY CO.,LTD.
沪過装置の生産累計8500台突破

プレコート式 精密沪過装置

RRF-80AAW＋MCC-50FAA

簡易型タンク内スラッジ処理機
NEW カスポンクリーナー
電源不要、工場エアーで操作出来、液は循環してスラッジを取除きます。

MCC-20HS

助剤不要精密沪過装置
MITAKA ダイレクトクリーン
ろ過助剤不要で1ミクロンのろ過実現!
新製品

MDC-10SA

カスポンプレス

タンク付 MCP-4050

カスポンフィルター
新製品

MCF-0420TSD 自動

主な用途 ●各種研削・切削液 ●放電加工液 ●金属表面処理液 ●アルミ研削液 ●セラミック研削液 ●CFRP・超硬加工液 ●工業用水 ●各種化学薬品 ●プリント基板研磨液 ●その他

特許 環境装置製造・販売 MTK 株式会社 三鷹工業所
http://www.mitaka-ind.co.jp
本社・工場 〒485-0822 愛知県小牧市上末字雁戸嶋1857-1 TEL.0568-72-5031 FAX.0568-75-4134
技術センター 〒486-0918 愛知県春日井市如意申町3-7-21 TEL.0568-35-5960(代) FAX.0568-35-5967
東日本営業所 〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和2-19-14 TEL.048-883-6411 FAX.048-883-5558
中部営業所 〒485-0822 愛知県小牧市上末字雁戸嶋1857-1 TEL.0568-72-5031 FAX.0568-75-4134
西日本営業所 〒802-0841 福岡県北九州市小倉南区北方3-30-33 TEL.093-922-6333 FAX.093-922-6344

世界中で存在感が増す
中部の工作機械

海外需要を取り込む
独自の戦略を積極展開

かたや3月に中国で2カ所目となる生産拠点「遼寧工場」を稼働させたヤマザキマザックは、世界各地の市場に低価格機を送り込む足掛かりとする国際戦略を描く。山崎智久ヤマザキマザック社長は「世界中のマザック工場の生産方式や品質管理手法を導入して、世界品質の製品を生産し、日本をはじめ世界中に輸出する体制を早々に築いていく」と力を込める。

現在、同工場は日本向けに小型の旋盤、マシニングセンター（MC）6機種を生産している。中国の低廉な労働力や原材料により、以前に日本で生産していた時より、価格を10％程度引き下げられた。今後、生産する機種を拡大するとともに、中国国内や他国にも製品を投入する考えで、中国生産による低価格化の効果を世界市場に波及させる。

中国市場はまだ伸長すると読んで、中国での販売・サービス体制の拡充にも余念がない。

遼寧工場に主軸の修理機能も持たせ、これまでに中国の顧客に納めた工作機械の主軸の修理・交換をできるようにした。中国国内で主軸修理も始めることで、機械の保守費用を抑えて、中国での顧客満足を向上させる狙いだ。現在、対応可能なのは複合加工機の主軸のみだが、いずれ中国市場に数多く流通している横型MCの主軸修理も実現させる考えだ。

一方で、オークマは「日本で作って世界で勝つ」を合言葉に、国内の生産改革にまい進している。5月20日にリニューアル工事を進めていた本社工場の竣工式を開き、稼働させた。

花木義麿オークマ社長は「品質、性能、機能を維持しながらコストダウンを成し遂げるにはどうすればいいのか。高付加価値の工作機械を、とことん効率を高めて日本で生産し、世界に販売する。それが私たちの進む道」と強調。生産効率を上げた新工場を機軸にして、世界市場を攻略する考えを示す。

本社工場のリニューアルは3期に分けて進める計画。今回、竣工をしたのは第1期の部分で、建屋総面積は約2万3600平方㍍。これを機に、今回完成した建屋を「ドリームサイト1（DS1）」と名付けた。14年度以降に第2期工事を始める見通しだ。

3月に稼働したヤマザキマザック遼寧工場

リニューアルしたオークマ新本社工場

生産改革を進めジェイテクト刈谷工場

国内工場を革新
高付加価値・低コスト化へ

DS1は生産能力がリニューアル前の1・5倍となる月120台。建屋の西側から東側に向けて部品加工→ユニット組み立て→総組み立て→出荷と生産のラインを整流化して並べた。加工工程はロボットなどを多用して、自動化・無人化を推進。これらの取り組みで、リードタイムを半分に短縮するという。

これとともに海外調達も拡大。中国や台湾の拠点を活用し、ボールネジなどの部品や機械の土台になる鋳物素材などの海外調達先を開拓する。12年度に20％未満だった海外調達比率を13年度は30％に引き上げて、国内生産の低コスト化を加速させる。

ジェイテクトも国内生産の変革を進行中。工作機械を生産する刈谷工場（愛知県刈谷市）では、刷新計画「刈谷ＲｅＢＯＲＮ」に取りかかっている。

生産ラインをメーンラインとサブラインに分ける「フィッシュボーン方式」を導入。生産ラインの形を魚の骨に見立て、小骨のサブラインで部品やユニットを生産して、背骨のメーンラインに送って組み立てる。

組み付け時の調整がなくなるので、技能工は本来の業務に集中でき、品質安定やコスト、工期低減の効果がある。

SUGINO
内燃機部品の「機械加工から精密洗浄まで」連係対応

例えば、シリンダヘッドなどの製造工程ロスが節減できます。

#30マシニングセンタ
Self-Center™ H15-LX
● 類まれなる高剛性 ・・・ #30ながら#40クラスの剛性
● 必要十分な加工エリア ・・・ 4気筒シリンダヘッドに対応したロングストローク
● 省エネ＆省スペース ・・・ 消費電力・設置面積を低減したエコマシン
● 高速マシニング加工 ・・・ 高剛性ボディと軽量な移動体のコンビネーション

CNCタレット形 水中洗浄機
Jet Clean Center™ U-Jet
● 確実バリ除去 ・・・ CNC制御により深穴内もピンポイントでバリ取り
さらに6種類ノズルと最適パス制御で高能率・多用途対応
● 徹底切りくず除去 ・・・ ウォータージャケット部などの残留切りくずも隈なく除去
● 効果的キャビテーション ・・・ 最適制御された強力水中衝撃波動で威力洗浄

スギノマシン
http://www.sugino.com